

- ガード材料の開発. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日, 新潟歯学会誌, 52(2): 99, 2022.
- 10) 田村浩平, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住80歳健康高齢者における咬合支持が10年間の生命予後に与える影響. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日, 新潟歯学会誌, 52(2): 101-102, 2022.
- 11) 高 昇将, 米澤大輔, 渡辺真光, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住の部分床義歯装着高齢者の食習慣に関する質的検討. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日, 新潟歯学会誌, 52(2): 102, 2022.
- 12) 植木麻有子, 田村浩平, 木村大地, 木村美樹, 曾根博仁, 小川祐司: オンライン予防歯科教育動画による企業従業員のヘルスリテラシー向上と行動変容における有効性の検証. 第33回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 塩尻市, 2022年11月19日, 口腔衛生会誌, 73(1): 64, 2023.

【受賞】

- 1) 植木麻有子: オンライン予防歯科教育動画による企業従業員のヘルスリテラシー向上と行動変容における有効性の検証. 発表奨励賞, 令和4年度甲信越北陸口腔保健研究会学術大会.

【その他】

- 1) Ogawa H: Fluoride mouth rinse programme to promote school oral health. Academic Lecture at Universitas Airlangga, online lecture, May 21, 2022.
- 2) Ogawa H: Primary oral health care delivery (lesson learned from countries best practices-Japan). UGM Global Oral Health Lecture Series, online lecture, May 25, 2022.
- 3) Ogawa H, Karawekpanyawong R, Hoshino T, Tun TZ, Hikaru O: Fact sheet "Evidence-based use of teledentistry in oral health services". World Dental Federation, 2021 (published in November 2022) <https://fdiworldental.org/evidence-based-use-teledentistry-oral-health-services>
- 4) 小川祐司: パンデミックがもたらした口腔健康への影響とその対応. 第4回WHO協力センター国内連携会議, web開催, 2022年4月26日.
- 5) 小川祐司: 2030年に向けての口腔保健オーラルヘルスプロモーション. 第97回北海道子供の歯を守る会, 札幌市, 2022年11月12日.
- 6) 小川祐司: 口腔保健とSDGs. 東京医科歯科大学大学院特別講義, オンライン講義, 2023年1月25日.

- 7) 小川祐司: オーラルフレイルとその予防. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所フレイルフォーラム. 明石市, 2023年2月9日.
- 8) 小川祐司: 糖尿病患者への歯周治療アプローチ. SillHa web セミナー 2023. 2023年3月5日.

う蝕学分野

【著書】

- 1) 保存修復学専門用語集 共同執筆: 吉羽邦彦, 野村由一郎他多数 医歯薬出版 2023.03.25 3版
- 2) 歯内療法学専門用語集 共同執筆: 吉羽永子, 野村由一郎他多数 医歯薬出版 2023.03.25 2版
- 3) 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 共同執筆: 枝並直樹, 野村由一郎他多数 医歯薬出版 2023.01.20 初版
- 4) よくわかる口腔バイオフィームと歯科治療 編・著: 野村由一郎, 共同執筆 ヒョーロン 2022.06.08 初版
- 5) エンドドンティクス第6版 共同執筆: 枝並直樹, 野村由一郎 他多数 永末書店 2022.03.01.6版

【研究費獲得】

- 1) 野村由一郎 研究代表者 科学的根拠に基づいた永久歯の歯髄復元療法・"歯の不死化"の確立をめざす包括的研究. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (B), 21H03117, 2022
- 2) 前歯葉月(研究代表者), 野村由一郎(研究分担者): 新規触媒技術を応用した難治性根尖性歯周炎関連バイオフィームコントロール法の開発 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 22K09998, 2022
- 3) 八幡祥生(研究代表者), 野村由一郎(研究分担者) 炎症性腸疾患併発下で難治化する根尖性歯周炎の分子病態解析と新規治療標的の検索 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 20K09970, 2022
- 4) 吉羽邦彦(研究代表者), 吉羽永子(研究分担者), 枝並直樹(研究分担者): 歯髄の創傷治癒・再生過程における Gli1 陽性幹細胞の動態と分化誘導機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21K09914, 2022
- 5) 細矢明宏(研究代表者), 吉羽邦彦(研究分担者): 株化歯根膜幹細胞の樹立と骨芽細胞分化メカニズムの解明 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究, 22K10019, 2022
- 6) 竹中彰治(研究代表者), 野村由一郎(研究分担者): リ

スクアセスメントとオーラルリテラシーを向上する誤嚥性肺炎の危険予知システム開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 19H03958, 2022

- 7) 竹中彰治 (研究代表者), 清水詩子, 茂呂寛, 野杵由一郎 (研究分担者): 認知症に対応し在宅医療を支援する血中抗体価を指標とした誤嚥性肺炎診断キットの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究 萌芽), 22K19667, 2022
- 8) 吉羽永子 (研究代表者), 吉羽邦彦 (研究分担者): マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 B), 22H03259, 2022
- 9) 大倉直人(研究代表者), 吉羽永子, 吉羽邦彦 (研究分担者): アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10147, 2022
- 10) 枝並直樹: 歯内療法用生体活性材料が持つアパタイト形成能の生体内評価と新規生体外試験法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K16966, 2022
- 11) 外園真規: in situ モデルを用いたデンタルバイオフィルムと歯肉上皮の共生機構の解明 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 21K16990, 2022
- 12) 井田貴子 (研究代表者), 枝並直樹, 外園真規, 竹中彰治, 野杵由一郎: 緑茶由来成分を用いた炎症制御と口腔バイオフィルム接着阻害によるう蝕進行制御の検索 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09997, 2022
- 13) 永田量子: 口腔ピロリ菌は胃がんの原因となるか? 磁気ビーズを用いた DNA 解析による検索 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援 21K21081, 2022
- 14) 齋藤瑠郁: 新発想の感染症治療薬の開発研究. 新潟大学 U-go グラント (次世代枠), 新規.
- 15) 齋藤瑠郁: エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 —新発想の感染症治療薬の開発研究—, 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト第2期生, 新規.

【論文】

- 1) Takenaka S, Sotozono M, Yashiro A, Saito R, Kornsobut N, Naksagoon T, Nagata R, Ida T, Edanami N, Noiri Y. Efficacy of Combining an Extraoral High-Volume Evacuator with Preprocedural Mouth Rinsing in Reducing Aerosol Contamination Produced by Ultrasonic Scaling. *Int. J. Environ. Res. Public Health* 2022, 19(10),

6048; 16 May 2022

- 2) Shalehin N, Seki Y, Takebe H, Fujii S, Mizoguchi T, Nakamura H, Yoshiba N, Yoshiba K, Iijima M, Shimo T, Irie K, Hosoya A: Gli1+PDL Cells Contribute to Alveolar Bone Homeostasis and Regeneration. *J Dent Res.* 101(12):1537-1543, 2022.
- 3) Nagata R, Sato H, Takenaka S, Yokoyama J, Terai S, Mimuro H, Noiri Y: Analysis of Genetic Relatedness between Gastric and Oral *Helicobacter pylori* in Patients with Early Gastric Cancer Using Multilocus Sequence Typing. *Int J Mol Sci* 24(3):2211, 2023.
- 4) Edanami N, Belal RSI, Takenaka S, Yoshiba K, Gutierrez REB, Takahara S, Yoshiba N, Ohkura N, Noiri Y: In vivo assessment of the calcium salt-forming ability of a new calcium silicate-based intracanal medicament: Bio-C Temp. *Dent J* 11(4): 91, 2023.
- 5) Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Noiri Y: SVCT-GLUT-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. *Sci Rep* 23;12(1); 1251, 2023.
- 6) Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Oda Y, Edanami, N, Ohshima H, Takenaka S, Okiji T, Noiri Y: Prostaglandin E2-transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. *J Endod* 49(4): 410-418, 2023.
- 7) Noiri Y, Nagata R: Current status of gastric and oral infection/diseases caused by *Helicobacter pylori*. *Oral Sci Int* 1-8, 2023.
- 8) 外園真規, 井田貴子, 枝並直樹, 永田量子, 竹中彰治, 柴田 源, 横山裕也, 石井裕之, 野杵由一郎. 試作全自動歯ブラシによるデンタルバイオフィルム除去効果. *J Health Care Dent.* 2022; 23: 47-56

【学会発表】

- 1) 齋藤瑠郁: 新発想の感染症治療薬の開発研究. 令和4年度フェローシップ支援事業&次世代プロジェクト採択者合同定例シンポジウム, 新潟およびWEBハイブリッド開催, 2023年3月3日~3月13日
- 2) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治, 佐伯万騎男. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日.
- 3) 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, 野杵由一郎: ケイ酸カルシウム系貼薬剤と水酸化カルシウム系貼薬剤の Biom mineralization Ability の比較. 第157回日本歯科

保存学会学術大会, 岡山, 2022 年 11 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集 126 頁, 2022

- 4) 高原信太郎, 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 野杻由一郎. 根尖孔外に漏出したバイオセラミック系シーラーと歯周組織の相互作用. 第 157 回日本歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022 年 11 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集 125 頁, 2022.
- 5) 井田貴子, 竹中彰治, 枝並直樹, 野杻由一郎. 歯根膜の 5 型コラーゲンが細胞外基質および幹細胞分化に与える影響. 日本歯科保存学会 2022 年度秋季大会 (第 157 回), 岡山, 2022 年 11 月 10 日-11 月 11 日. 第 157 回日本歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022 年 11 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集 152 頁, 2022.
- 6) Niraya Kornsombut, Shoji Takenaka, Jutharat Manuschai, Maki Sotozono, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri. Anticariogenic biofilm activity of dental material to reduce and prevent dentin hypersensitivity. 第 36 回日本バイオフィルム学会学術集会, 横浜, 2022 年 9 月 24 日-25 日.
- 7) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022 年 9 月 17 日-18 日.
- 8) 大倉直人: 歯根形成時におけるピロリン酸および無機リン酸の影響. 第 43 回日本市内療法学会学術大会, Web 開催, 2022 年 7 月 9-25 日, 日本歯内療法学会学術大会プログラム 43, 67 頁, 2022.
- 9) 枝並 直樹, 竹中 彰治, 吉羽 邦彦, 大倉 直人, 吉羽永子, 高原 信太郎, 野杻 由一郎: 生体活性はケイ酸カルシウム系セメントに普遍的な特性か? 18 種のケイ酸カルシウム系セメントの生体内評価. 第 156 回日本歯科保存学会学術大会, Web 開催, 2022 年 6 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集 24 頁, 2022.

【機関誌等】

- 1) 口腔ピロリ菌の闇に迫る—くちのピロリよ何処に向かう? 陽光 34 2-4, 2022. 2022.12.20 発刊
- 2) 口腔ピロリ菌の闇に迫る—万病の始まりはくちからか? 陽光 32 2-3, 2022. 2022.04.20 発刊

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 吉羽永子, 令和 4 年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 新潟大学ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型) シンポジウム「高志の女性研究者開花システム構築 開花プラン取組」9 月 30 日 シンポジスト

【受賞】

- 1) 吉羽永子 令和 4 年度新潟大学研究推進機構研究准教授

【メディア報道】

- 1) ラジオ番組出演: テーマ「う蝕 (むし歯) 予防管理システムについて」、放送日令和 5 年 3 月 13 日(月) ~ 3 月 16 日(木), 15:45-16:00, 「工藤淳之介の 3 時のカルテット」内、出演者 野杻由一郎

【その他】

- 1) 奨学寄附金: う蝕学分野における研究助成、クラレ。ノリタケ社 300 千円 x 2 回

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 早崎治明, 中村由紀: 小児歯科学 第 6 版 (白川哲夫他編), 56-58, 185-193 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023.
- 2) 大島邦子 他: Down 症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン 2022 (日本障害者歯科学会監修), 47-56 頁, 2022.

【論文】

- 1) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Okada Y, Sato T, Ohshima H: The Effect of Intentionally Perforating the Floor of Pulp Chamber on Pulpal Healing after Tooth Replantation in Mice. J Oral Biosci 65(1): 31-39, 2023.
- 2) Ibanez N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakihara Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh I: The Role of Genetically Modified Human Feeder Cells in Maintaining the Integrity of Primary Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells. J.Clin.Med 11(20): 6087, 2022.
- 3) Sato M, Saitoh I, Kiyokawa Y, Akasaka E, Nakamura S, Watanabe S, Inada E: Electroporation-Based Non-Viral Gene Delivery to Adipose Tissue in Mice. OBM Genetics 6(2): 151, 2022.
- 4) Suebsamarn O, Kamimura Y, Suzuki A, Kodama Y, Mizuno R, Osawa Y, Komatsu T, Sato T, Haga K, Kobayashi R, Naito E, Kida M, Kishimoto K, Mizuno J, Hayasaki H, Izumi K: In-process monitoring of a tissue-engineered oral mucosa fabricated on a micropatterned collagen scaffold. Use of optical coherence tomography for quality control. Heliyon 8(11): e11468, 2022.
- 5) 野上有紀子, 中村由紀, 五月女哲也, 清川裕貴, 朴沢